取扱説明書

DAYTONA corp.

R67895①/23

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

ノーマルエアクリーナー対応 ハイパーボアキット	適応車種	商品NO.
	APE50 XR50 モタード	67895

■ご使用前に必ず、ご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
 火気厳禁	表記の禁止行為を告げるものです。		

⚠警告

禁止

- 作業を行うときは、必ず冷間時に行ってください。【火傷を起こす原因となります。】
- エンジンを始動し、確認する際は、必ず換気の良い場所で行ってください。【一酸化炭素中毒になる可能性があります。】
- 当商品の装着時、点検・整備を行った際に車体部品に欠損・損傷が合った場合はその部品の再利用を避け、新しい部品に交換してください。【重大な事故を起こす可能性があります。】

⚠注意

実施

- ボルト、ナット、ノックピン、一部のパッキンは再使用しますので、取り扱いには十分注意して万一傷等がついた場合は純正の新品と交換してください。
- この商品を装着するにはエンジンの脱着と分解組み立て等必要なため、別途・ホンダ純正マニュアルをご参照頂くか、専門技術を有したショップでの作業をお勧めします。
- 作業の際、ゴミやほこり等の付いたままのパーツをそのまま組み付けますとエンジンを始動した際にキャブレター内部で詰まったり、シリンダー内部へゴミやほこり等が侵入して焼き付きの原因となりますので、パーツ類は必ずきれいにしてから組み付けを行ってください。
- 作業の際、クランクケース内に異物が混入しないよう十分に注意して作業してください。

2008/07/15

火気厳禁

・作業の前にエンジン及びマフラーが冷えていることを確認してください。走行直後などでエンジンやマフラーが冷えていないまま作業を行いますと火傷の原因となり大変危険です。

法令違反

・この商品を装着すると、80cc に排気量アップし原付２種扱いになるため、市町村区役所へのナンバー変更の届け出、任意保険、自賠責保険の内容確認と変更、小型自ニ車以上の運転免許証の保有等が必要になります。

・この商品を装着し原付免許、原付 1 種登録で一般公道を運転すると、道路交通法違反等で運転者本人が罰せられますので、絶対に違反行為はしないでください。

・一般公道では、道路交通法に則した法定速度に準じて運行を行ってください。

その他

・作業に入る前に、必ず安全を確保した上で作業を行ってください。

・この商品は、記載されている適合車種以外の車両には使用しないでください。

・取り付けは確実に行ってください。また、走行中にネジ部等が緩まないよう、トルクレンチを使って所定トルクで確実に締め付けてください。

・取り付け後約１００ｋｍ走行しましたら各部を点検してネジ部等の増し締めを行ってください。その後は約５００ｋｍ毎に必ず点検を行い、同様の増し締めを行ってください。

・走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。

・この商品は、予告無しに価格や仕様の変更をする場合があります。また、文中に御紹介した商品についても同様です。予め御了承ください。

・ジェットセッティングは必ず行ってください。セッティングがずれていると、エンジン始動不良、エンジン焼き付き、パワーが出ない等の問題が発生します。

・説明書でお奨めしているジェットセッティングは当社車両でテストした際のセッティングであり、全ての車両に当てはまるものではありません。お客様のセッティングと異なる場合があります。予めご了承ください。

・ジェットセッティングは季節、装着パーツ、車両使用状況、主観の違いによってベストセッティングは異なります。予めご了承ください。

・商品の不良について商品についての保証を行っておりますが、商品以外の費用の保証は一切できませんのでご了承ください。

・ハイカム装着により、ロッカーアームのリフトが増えますが、カムハウジングのロッカーアームとの逃げの削り加工は必要ありません。

・ハイカム装着により、バルブのリフト量が増えますが、バルブとピストンの隙間はキットの組み合わせであれば接触しません。

・カムシャフトのバルブタイミングはピストントップ位置（クランクＴマーク）とカムスプロケット○マーク位置を、純正カムシャフトと同様に合わせて組み込みして頂ければ、特に角度を分度器等で合わせる必要はありません。

・この商品を装着すると、**圧縮比が上がりますのでガソリンはハイオクガソリンを御使用ください。**

・このキットを装着すると、エンジン出力が増大しますので、**クラッチを強化クラッチキット（ＡＰＥ５０用）品番４７９１０へ交換することをお奨め**します。

・セッティングのミスによるエンジンのトラブルは、保証対象外となりますので御注意ください。

本商品の特徴

• 純正エアクリーナーＢＯＸを使用し、静粛性にすぐれながらも、ＰＣ２０キャブレター装着でパワーＵＰします。

別途必要部品

・この商品の取り付けには、**Ｌクランクケースカバーガスケット（純正品番：11394-ＫＮ4-750）**が必要になります。

必要工具

商品装着に必要な工具（参考です）

- トルクレンチ （必需品）
- バルブスプリングコンプレッサー（必需品）
- シックネスゲージ （必需品）
- シザースホルダー
- タペットアジャストレンチ（9mmスパナ代用可能）
- プラスチックハンマー
- コンビネーションレンチ(8～17mm)
- メガネレンチ(8～17mm)
- ラチェットハンドル
- ディープソケット（8mm）
- ソケット（１０・１２・１７mm）
- ＋ドライバー＃２
- －ドライバー小
- ラジオペンチ
- スクレイパー
- 針金又は、結束バンド
- ウエス
- レーシングスタンド
- ジャッキ・当て木
- エンジンオイル（エンジン組付け時の潤滑用） 等が必要です。

商品内容

№	パーツ名	サイズ (mm)	数量	№	パーツ名	サイズ (mm)	数量
1	ビッグボアシリンダー	Φ53.5	1	13	ピストンピン		1
2	ハイカムシャフト		1	14	ボアアップキット標識		1
3	バルブスプリング（インナー）		2	15	ピストンピンサークリップ		2
4	バルブスプリング（アウター）		2	16	エキゾーストガスケット		1
5	スロットルケーブル		1	17	マニホールドガスケット		1
6	インテークマニホールド		1	18	キャブレターガスケット		1
7	ＰＣ２０キャブレター		1	19	ベースガスケット		1
8	メインジェット	＃100	1	20	ヘッドガスケット		1
9	メインジェット	＃105	1	21	六角穴付ボルト	M6×20	2
10	メインジェット	＃110	1	22	スタッドボルト	M6x33	2
11	ピストン単体	Φ53.5	1	23	キャブレターインシュレーター		1
12	ピストンリングセット		1	24	コネクティングチューブ		1

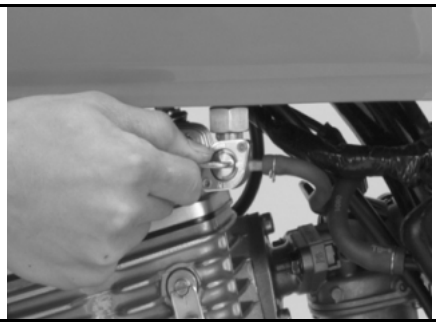
タペット調整方法

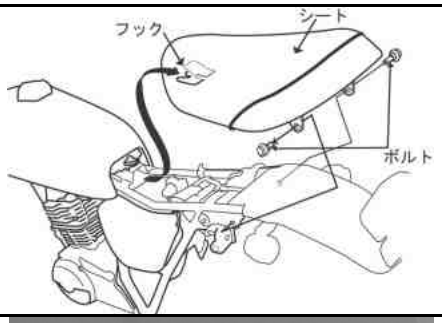
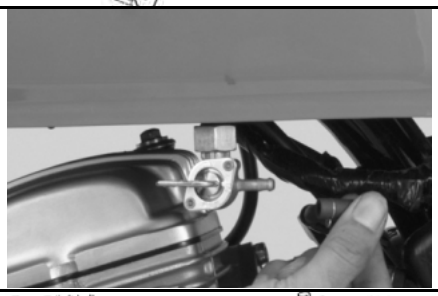
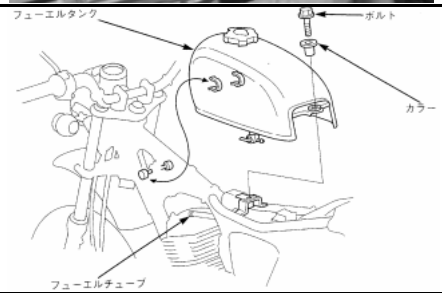
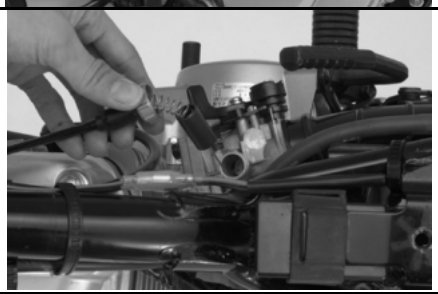
タペット調整は必ず行ってください、使用していてタペット音が大きい車両も隙間の点検と調整をしてください。

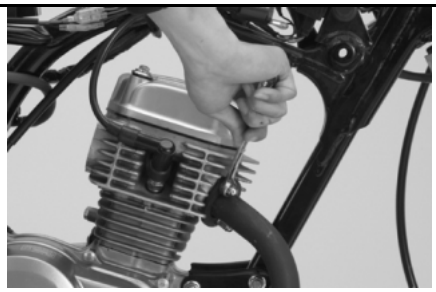
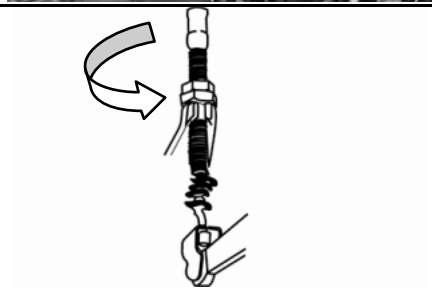
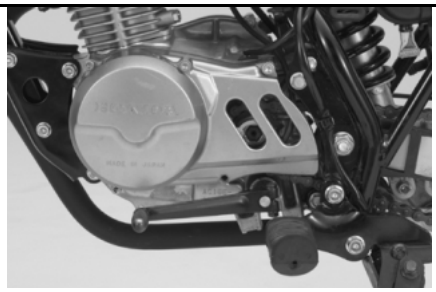
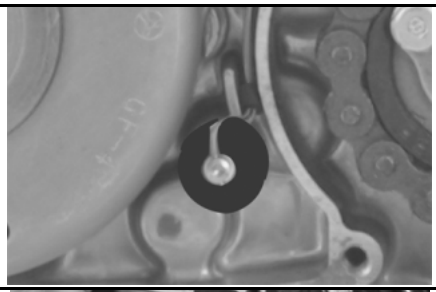
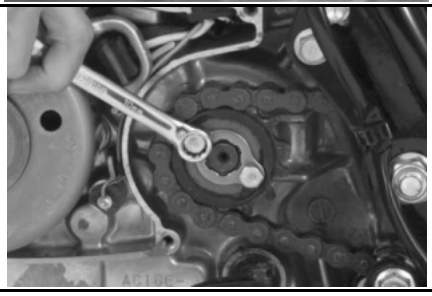
ＡＰＥ５０	バルブクリアランス（タペット隙間）	ＩＮ／ＥＸ共に０．１mm±0.０２（冷間時）

使用工具はシックネスゲージ、タペットアジャストレンチ等（9mmスパナ代用可能）

取付方法

1	●作業に入る前に、フューエルコックをＯＦＦにしてください。又、サイドスタンドを取り外しますので、レーシングスタンド等を使用し、作業を行ってください。	

2	●フレームサイドからシートを固定しているボルトを外し、シートを後方へ引っ張るようにし、純正シートを外してください。	
3	●ホースクリップを移動し、ガソリンホースを、フューエルコックより外してください。 **注意** **外す際に、ガソリンが目等に入らないように注意してください。**	
4	●ボルトを外し、タンクを後方に引き、タンクを車体から外してください。このとき、左右のサイドカバーも外してください。 **注意** **外したタンクから、ガソリンが流れないよう、保管してください。サイドスタンドを取り外しますので、レーシングスタンド等を使用し作業を行ってください。**	
5	●＋ドライバーで、コネクティングバンドスクリューを緩めてください。	
6	●キャブレタートップキャップを緩め、キャブレター本体からスロットルバルブ・アクセルワイヤーを取り出してください。	
7	●マニホールド・エンジン側のボルト・２本を緩め、ヘッドからマニホールドとキャブレター本体を取り外してください。 **注意** **キャブレター保管時は内部にガソリンが残っていると大変危険ですので、火災等に十分注意し、キャブレターから抜き取ってください。** **キャブレターと、マニホールドをとめていた、純正ナット 2 個は後の作業で使用するため、保管してください。**	

8	●シリンダーヘッドＥＸ部に固定している六角ナットと、右ステップ後方のボルトを緩め、マフラーを外してください。その後、プラグキャップを外してください。 **注意** **マフラー取り外しの際は、マフラー本体が十分冷えている事を確認し、火傷をしないよう作業を行ってください。**	
9	●車体左側・スプロケットカバーより出ている配線をたどり、カプラーの結線を外してください。外すカプラーは白色・緑色・黒色の３種類です。	
10	●右側クランクケース・クラッチケーブルホルダーのロックナットを緩め、クラッチケーブをはずします。	
11	●左側スプロケットカバーを固定しているボルト・５本を緩め、カバーを外してください。 **注意** **ガスケットが切れてしまった場合は、スクレイパー等できれいに取り去り、Ｌクランクケースカバーガスケット（純正品番：11394-ＫＮ4-750）を装着してください。**	
12	●ニュートラルスイッチに装着してある樹脂製のスペーサーをはずし、保管してください。	
13	●スプロケットを固定しているボルトを２本緩め、ストッパープレートを少しまわし、カウンターシャフトから取り外します。 このプレートを取り外し、フロントスプロケットを引き抜きます。	

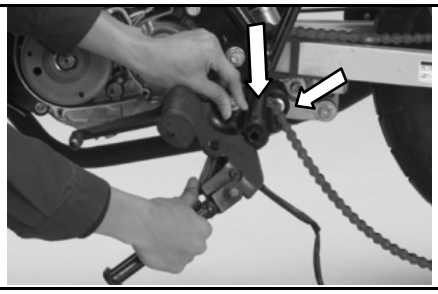
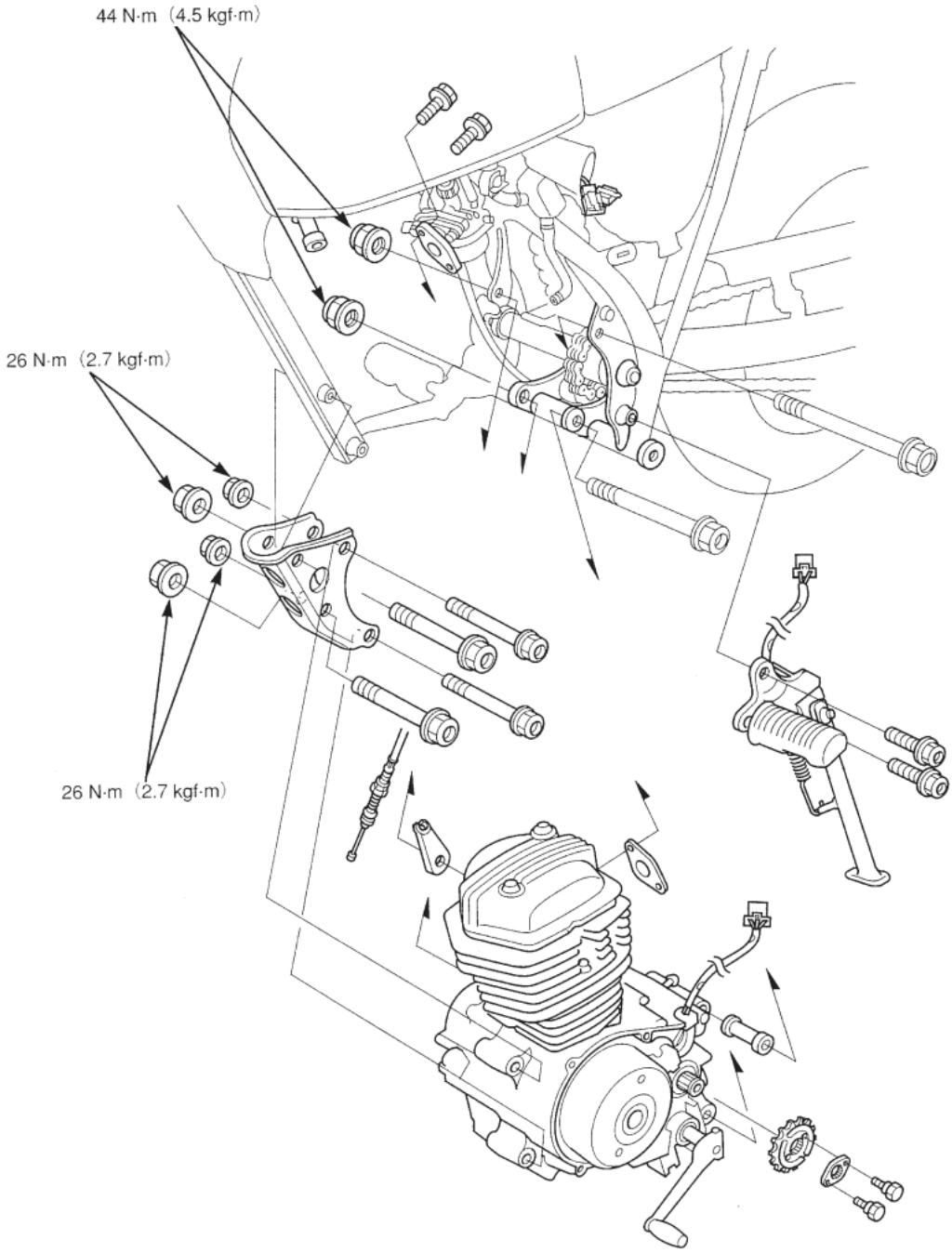
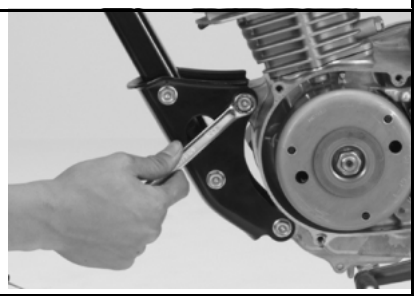
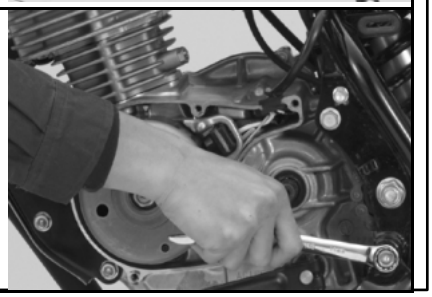
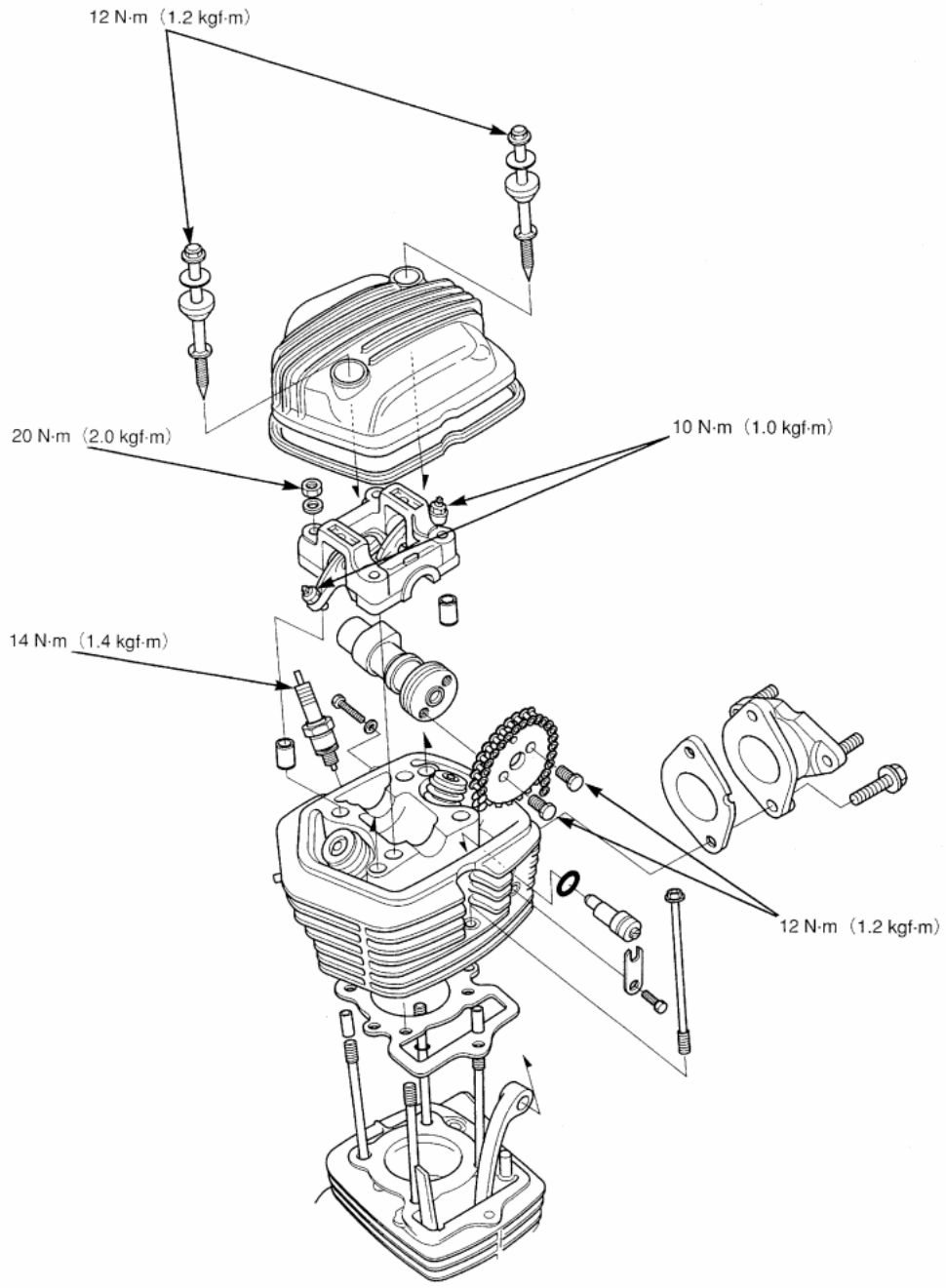
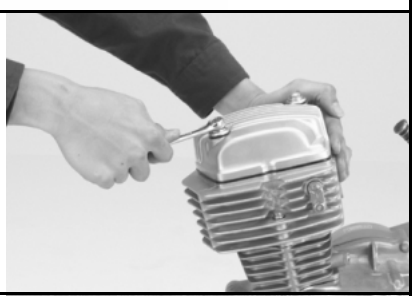
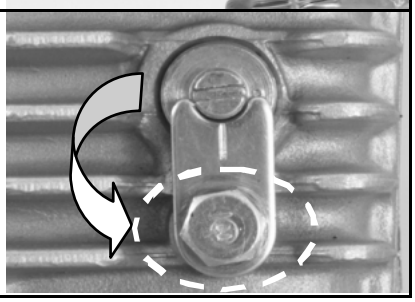
14	●クランクケース後方から出ている、ブリーザーホースを抜いてください。	
15	●サイドスタンドスイッチのハーネスを、車両のクランプから取り外してください。	
16	●左ステップ・ホルダーをとめているナット2箇所緩め、ステップ・サイドスタンドを取り外してください。	

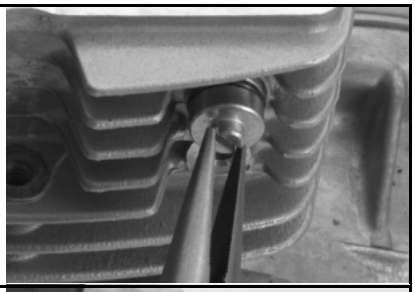
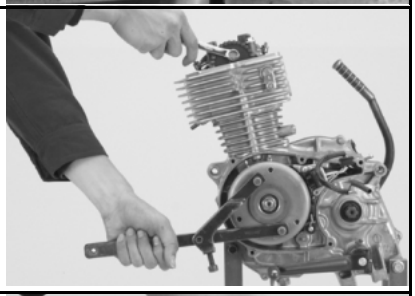
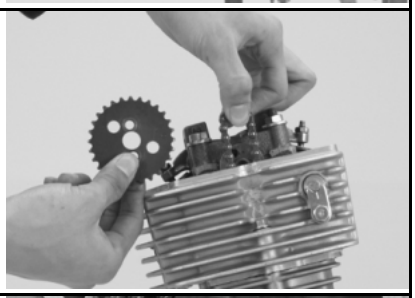
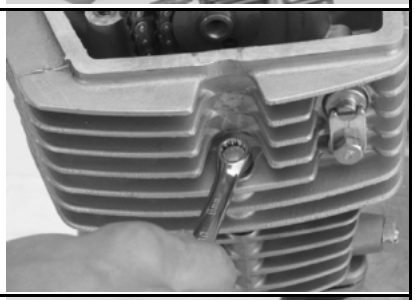
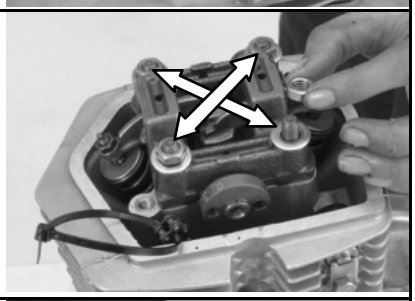
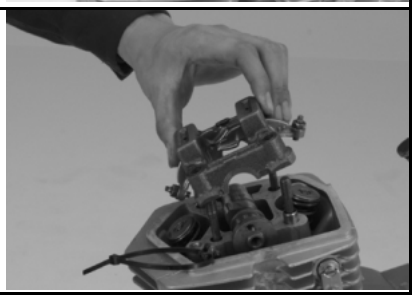
図 1

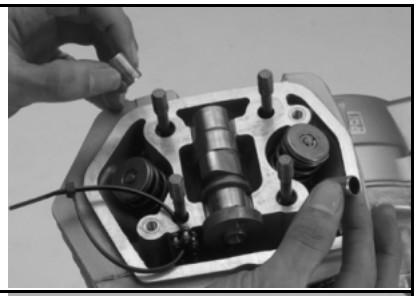
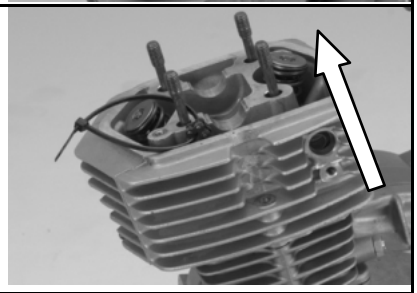


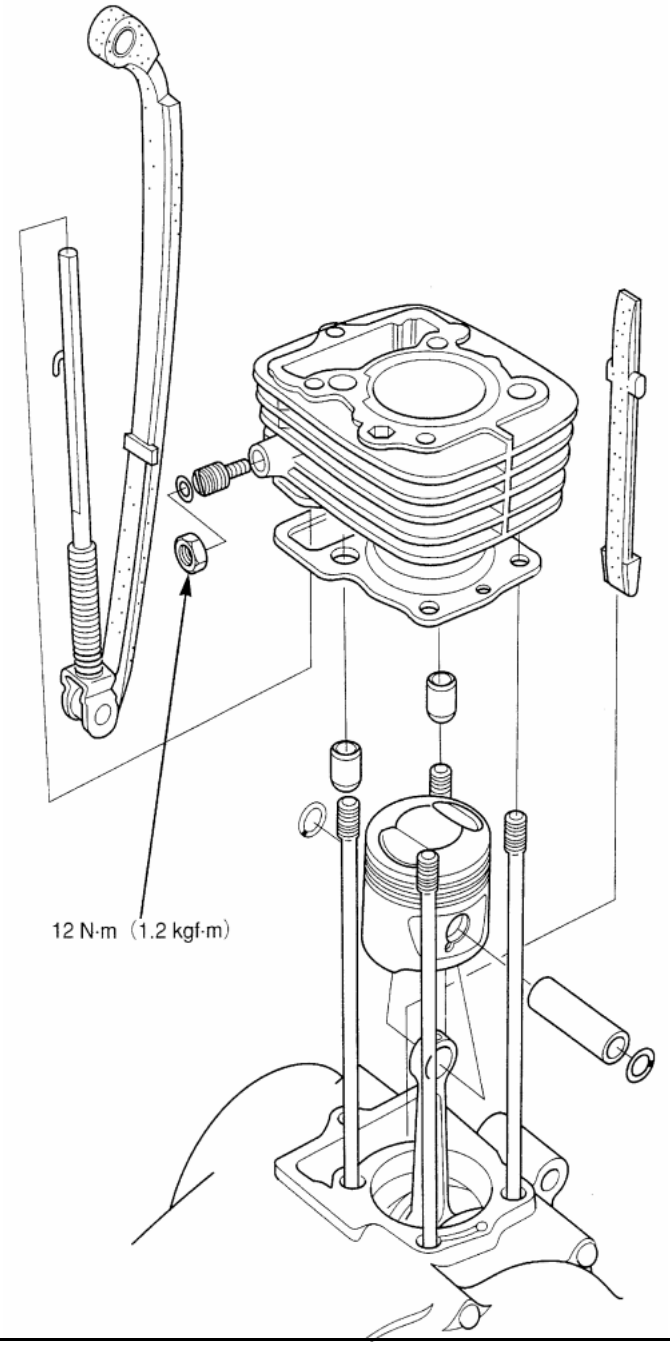
17	●クランクケース下側にジャッキ・当て木等を使用し、フロントエンジンハンガーをとめているボルト４本を緩めてください。 注意 ジャッキ又は当て木を必ずご使用ください。ボルトを抜いた際に、エンジンが下るため、大変危険です。	
18	●後ろ側エンジンマウントのボルト・ナットを上下 2 箇所緩めます。ナットを緩めた後、上側のエンジンマウントボルトから抜きます。クラッチホルダー・カラーがボルトに固定されていますので、慎重に抜き取ってください。 ボルトを抜くと、エンジンがフレームから外れます。	



19	●ヘッドカバー２本のボルトを緩め、エンジンからヘッドカバー、ガスケットを取り外してください。	
20	●ロックボルトを取り外し、セットプレートをずらし、テンションアジャスターを取り外します。	

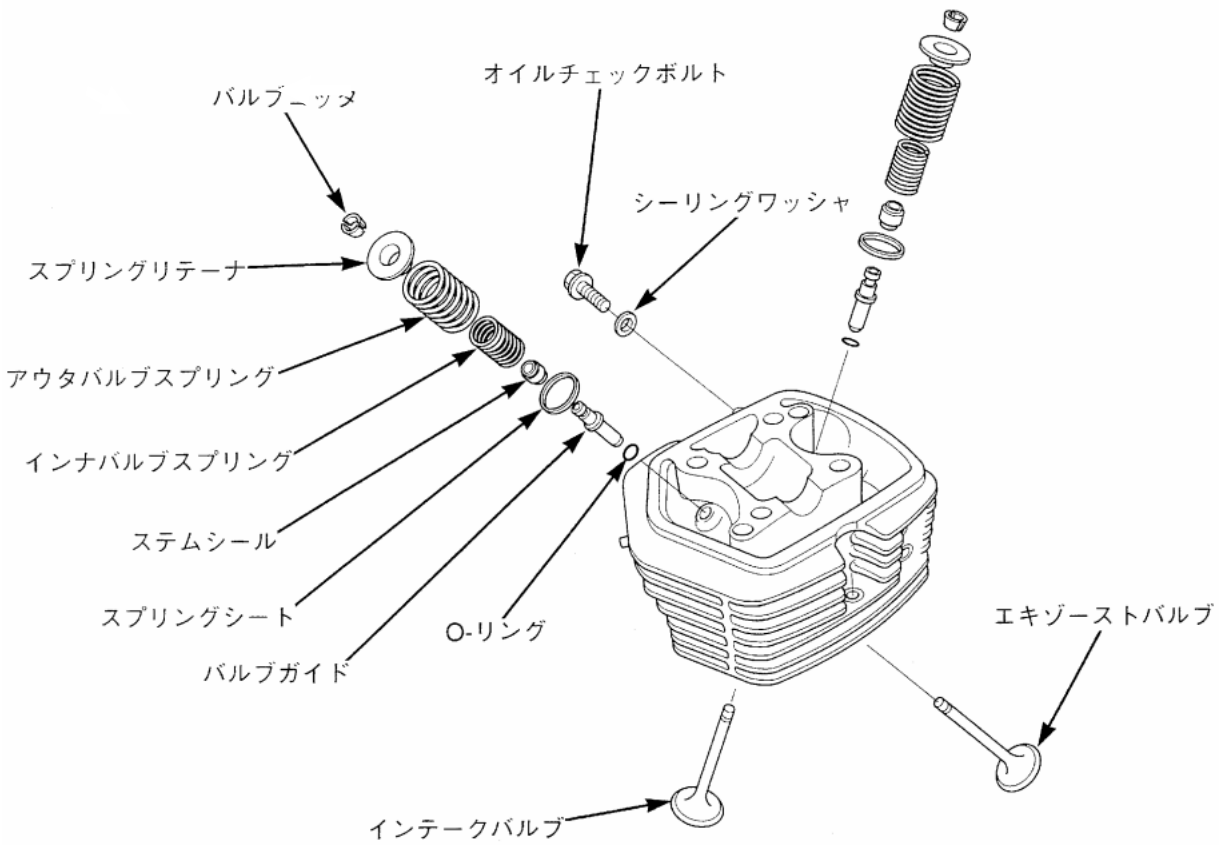
21	●カムチェーンテンションアジャスターを取り外します。 取り外す際は、ラジオペンチを使うと容易に取り外しが行えます。	
22	●カムスプロケット取り付けボルトをはずします。取り付けボルトをはずす際にカムシャフトの共回り防止のため、フライホイールを固定して作業してください、シザースホルダーを使用します。	
23	●カムスプロケットを手前に引き、取り外します。この時、カムチェーンが落ちないように注意してください。 **注意** **カムチェーンが落ちないように、針金・結束バンド等で脱落しないようにしてください。**	
24	●シリンダーヘッド・マウントボルトを緩め、取り外します。	
25	●カムシャフトホルダーを固定しているナットを対角線上で数回に分け回し、取り外します。	
26	●シリンダーヘッドから、カムシャフトホルダーを取り外します。	

27	●シリンダーヘッドから、カムシャフト・ノックピンをはずします。 注意 ノックピンは後で再利用します。	
28	●シリンダーヘッドから、カムシャフト・ノックピンをはずし、シリンダーヘッドを取り外してください。 注意 ノックピンは後で再利用します。	



バルブスプリングの組み付け

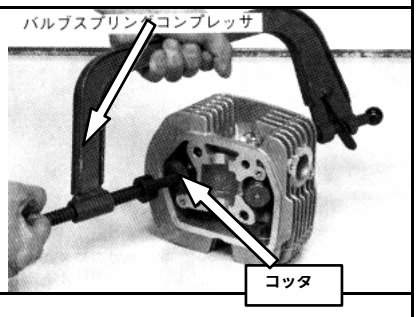
下図がシリンダーヘッドの分解図です、
この図中のバルブスプリングを交換してください



29

● 取外したシリンダーヘッドに**バルブスプリングコンプレッサー**を使用してキットの **3.バルブスプリング（インナー）**、**4.バルブスプリング（アウター）**に交換します。

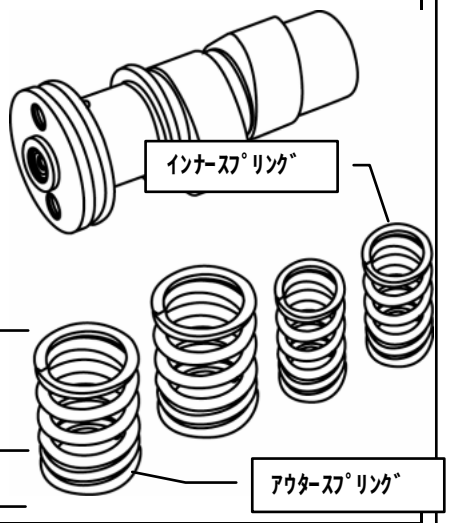
注意
バルブスプリングの交換ではバルブを取外す必要はありませんが、走行距離が進んだ車両ではバルブのクリーニング、ステムシールの交換等をしてください、詳細なサービスデーターはＡＰＥサービスマニュアル等を参考にしてください。

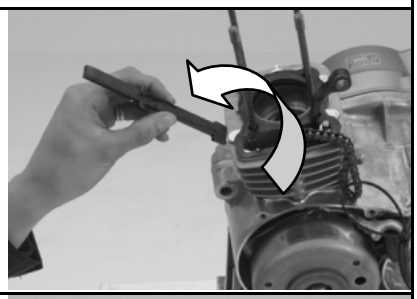
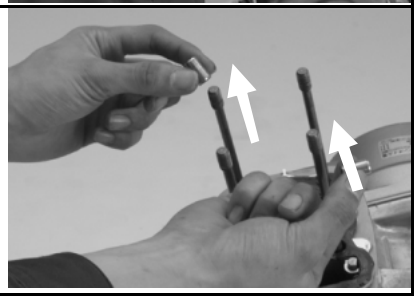
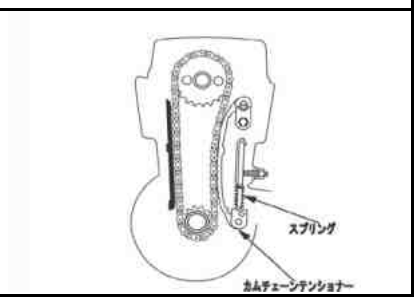


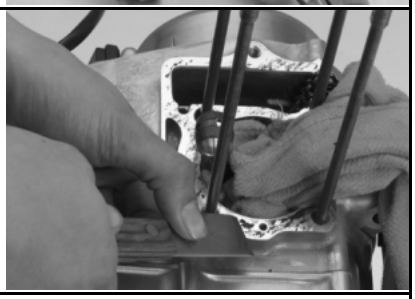
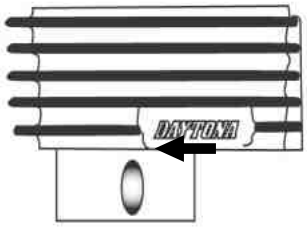
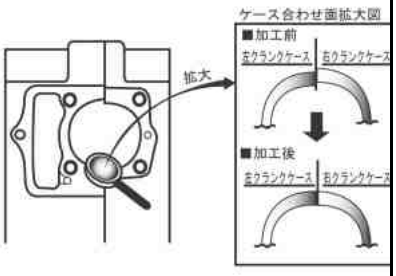
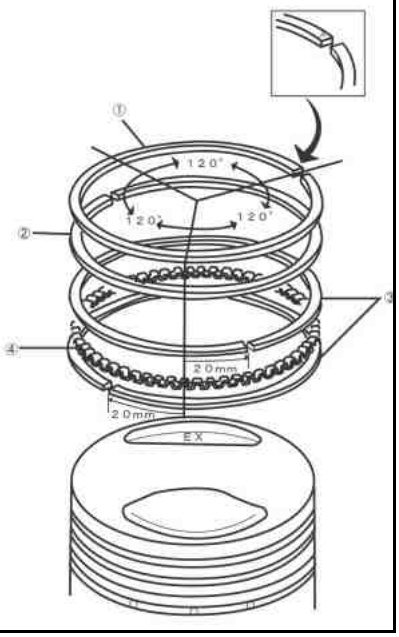
30

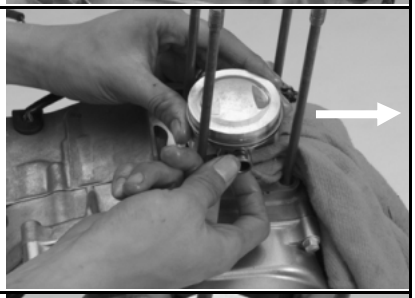
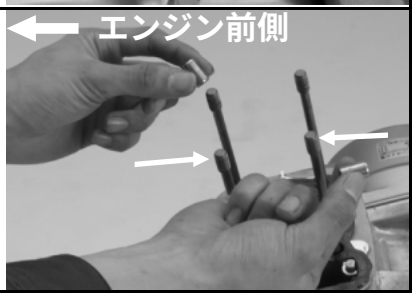
●外径の大きなスプリングは　**4.バルブスプリング（アウター）**
外径の小さなスプリングは　**3.バルブスプリング（インナー）**です。

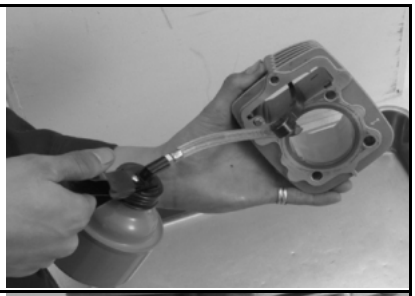
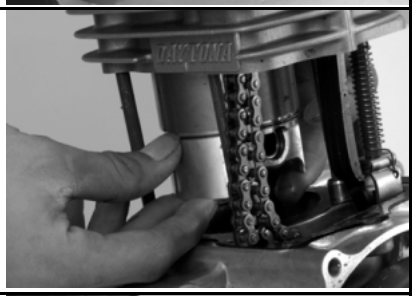
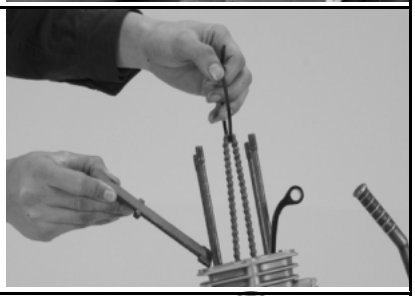
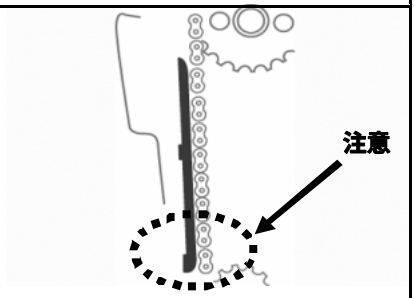
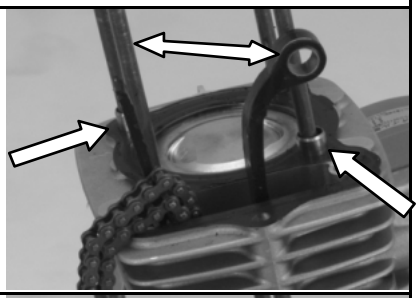
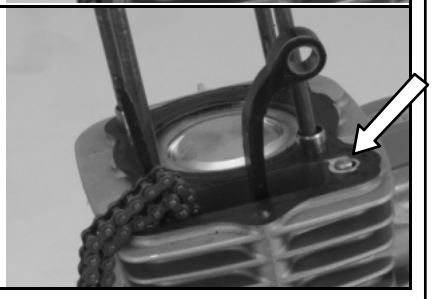
注意
（２段不等ピッチスプリングのため向き（上下）があります）
スプリングのピッチが狭い方を下側に向け純正のものと交換します。
（スプリングシート類も純正のものを必ず使用してください）

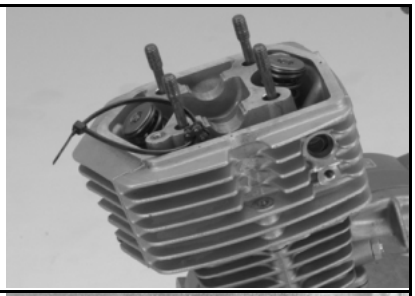
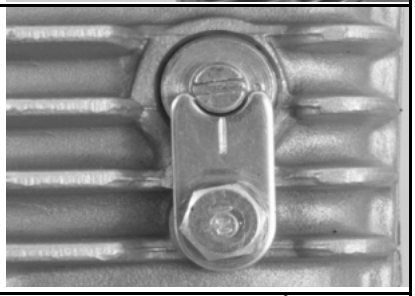
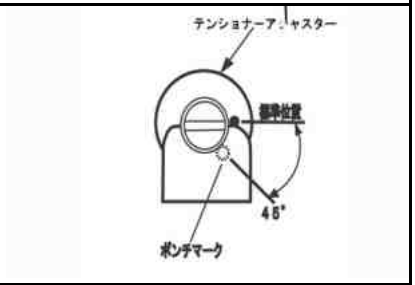
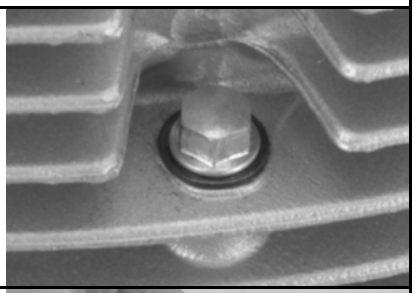
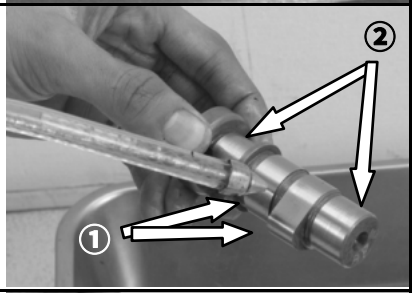
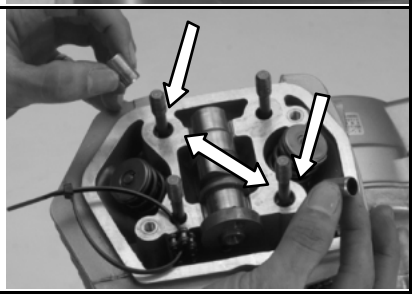


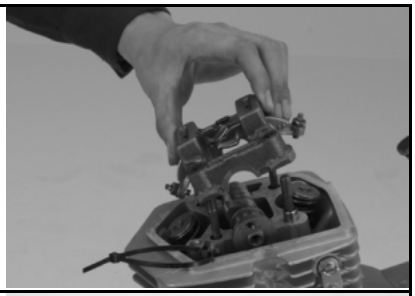
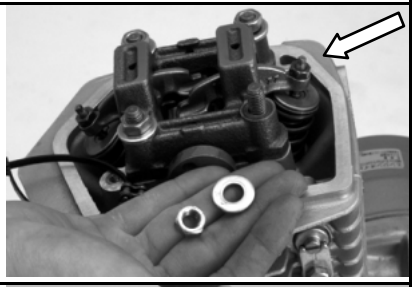
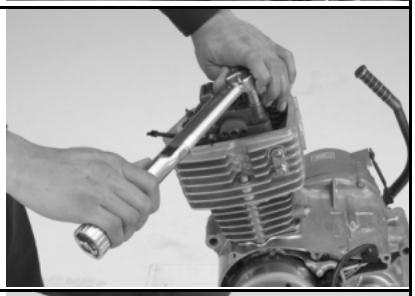
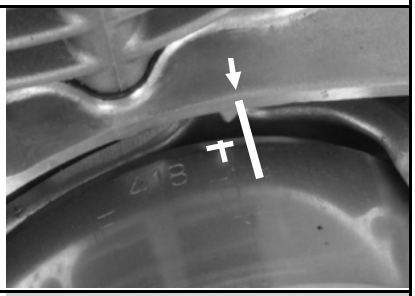
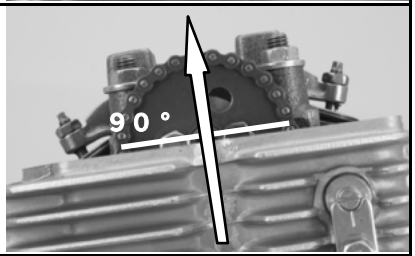
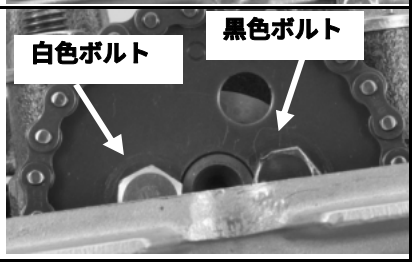
31	●ノックピンを外してください。組み立て時に再利用しますので大切に保管してください。	
32	●シリンダーからカムチェーンガイドを取り外します。	
33	●シリンダーを取り外します。	
34	●クランクケースから、ノックピンを取り外します。 ノックピンは再利用しますので、大切に保管してください。	
35	●取り外したシリンダーから、ロックナットを緩め、アジャストボルトをマイナスドライバーで緩め取り外します。	
36	●テンショナーは上記の図のようになっております。抜き取る際は、シリンダー上面に引っ掛けてある①のスプリングを外し、下向きに抜きます。 当社シリンダーへの装着は逆の手順で行ってください。	

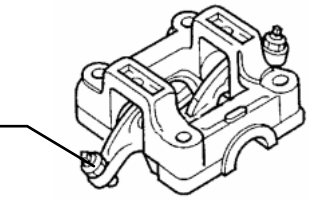
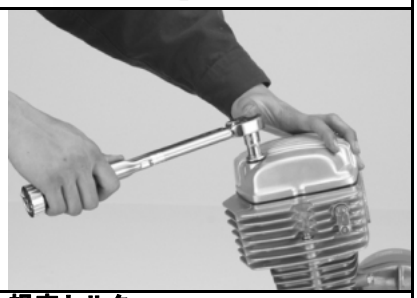
37	●ピストンピンサークリップを、ラジオペンチ等で取り外し、ピストンピンを取り外します。その際、クランクケースの内側に、ウエス等を詰め、異物の混入を防いでください。	
38	●取り外した部品【シリンダー・シリンダーヘッド・クランクケース等】のガスケットを、スクレーパー等で、きれいにはがしてください。	
39	●左右のクランクケースのずれから、シリンダースカート部（右図の部分）に強く接触する場合があります。 その場合は（**組み立て手順 41**）のようにクランクケースの修正を行ってください。	
40	●右記のように段がある部分を修正します。その際、異物が入らないよう、ウエス等をケースに詰めてください。加工を行った場合は、エンジンをアイドリング状態で数分始動し、エンジン停止後、オイル交換を行ってください。	
41	●ピストンリングの装着は慎重に行ってください。折れる可能性があります。尚、**11.ピストン単体**にリングを装着する前に、**15.ピストンピンサークリップ**を片側に装着してから、**12.ピストンリングセット**の装着を行ってください。 **■ピストンリングの特徴** **①トップリング** リング外周にメッキ処理がしてあります。リング合口の“Ｔ”印をピストントップ方向に向け、装着してください。 **②セカンドリング** パーカライジング処理により、リング全体が黒色になっております。 リング合口の“Ｔ”印をピストントップ方向に向け、装着してください。 **③オイルリング** 他のリングとは違い薄いリングになります。上下方向はありません。 **④スペーサー** **波状に曲がっているリングです。最初に組付けます。**	

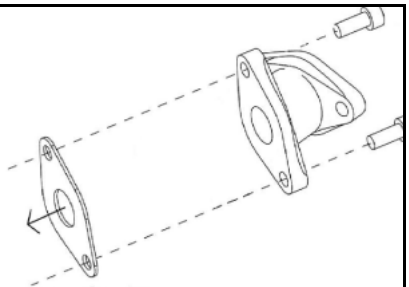
42	●右記の図のように、**12.ピストンリング**・ピストンピンホール・**13.ピストンピン**にオイルを塗布してください。	
43	●コネクティングロッドの小端部分にオイルを塗布してください。	
44	●リングの装着が完了したピストンに、**13.ピストンピン**を装着し、コネクティンロッドに装着してください。 **注意** **ピストンのリセス部分の”EX”印は必ず排気側に向け装着してください。**	
45	●ラジオペンチなどを使用して、**15.ピストンピンサークリップ**を装着してください。 **注意** **クランクケースにサークリップが落ちないように、ケースにウエス等を詰め作業してください。** **作業終了後、ウエスを取ってください。**	
46	●ピストンの装着が終わりましたら、**19.ベースガスケット**・ノックピンを装着します。 **注意** **ノックピンの位置はクランクケース左側です。間違えずに装着してください。**	

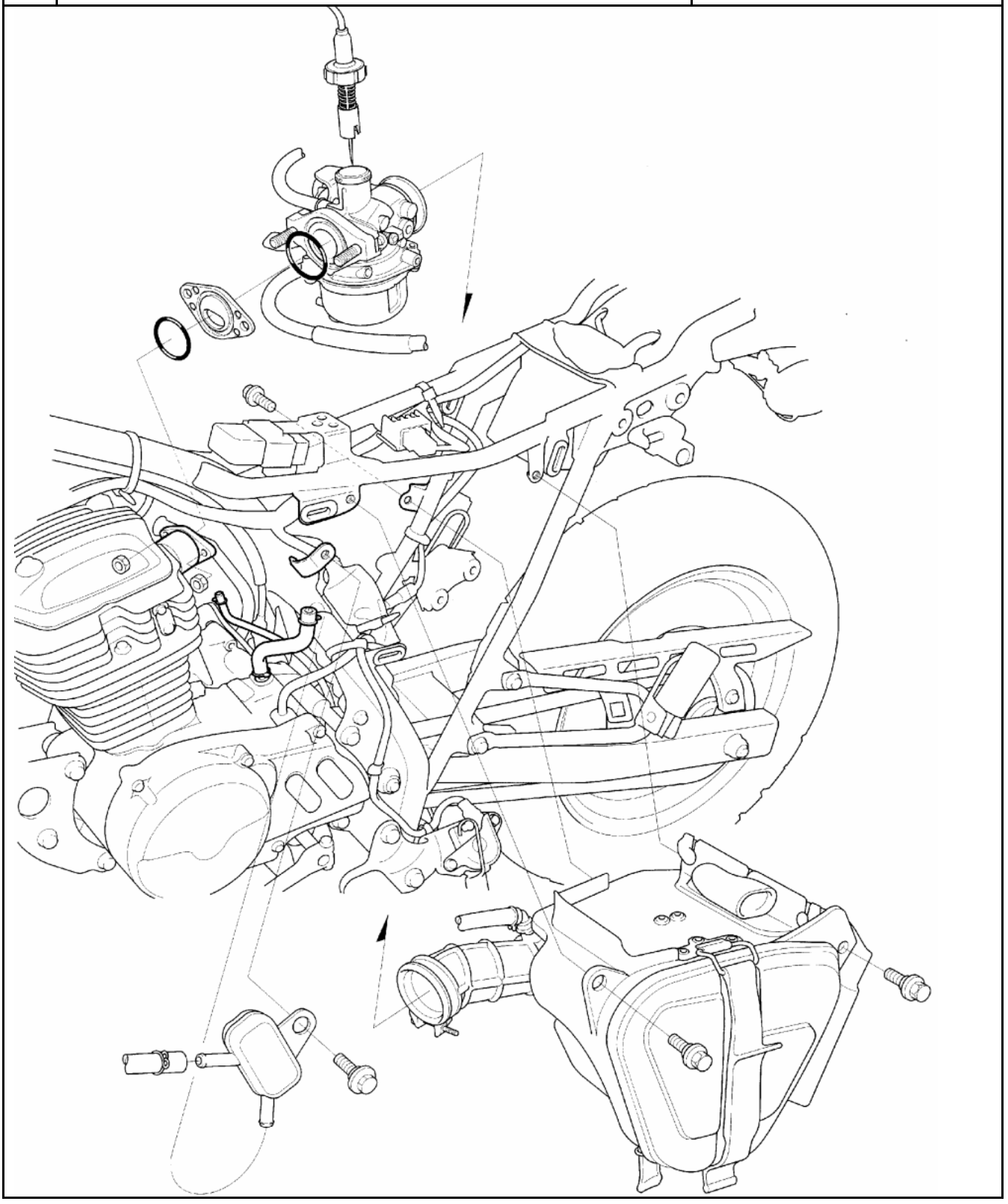
47	●1.ビッグボアシリンダーを装着する前に、シリンダー内壁にオイルを塗布してください	
48	● 1.ビッグボアシリンダーを装着します。 リング合口がずれない様注意し、指で少しずつリングを押さえながら、シリンダーにピストンを挿入してください。	
49	●シリンダーヘッドを装着する前に、カムチェーンを引き上げてください 図のように結束バンドや針金等をカムチェーンに通しカムチェーンを引き出してください。 その後、カムチェーンガイドを組付けてください。	
50	●カムチェーンガイドは向きがあります。方向に注意して組み込んでください。	
51	●1.ビッグボアシリンダーに、ノックピン・20.ヘッドガスケットを装着します。ノックピンの位置は、対角線上になりますので、間違えずに装着してください。	
52	●カムチェーンテンショナーは右図のようにシリンダー上面位置でセットしてください。シリンダーヘッドの装着の際、テンショナーアジャストボルト装着の位置合わせが容易になります。	

53	●カムチェーンを通し、**組立手順２９～３１**でバルブスプリングを交換したシリンダーヘッドを装着します。	
54	●シリンダーヘッドにテンショナアジャストボルトを通し、テンショナを固定します。セットプレートはまだ仮組みにしておきますので、ロックボルトは仮組みにしておいてください。	
55	●テンショナーアジャスターのポンチマークは標準位置に設定してください。調整の範囲は４５°有りますが、この状態では標準位置で、組み上げ後に調整します。	
56	●シリンダー左側のシリンダーヘッドマウントのボルトを仮組みしておいてください。	
57	●キットの**2.カムシャフト**のカム面①・ジャーナル面②にエンジンオイルを塗布してください。	
58	●シリンダーヘッドに**2.カムシャフト**を装着します。 装着時にカム山が下向きになるように装着してください。 その後、ノックピンを対角線上に装着します。	

59	●カムホルダーを組付けます	
60	●カムホルダーを装着しますが、ロッカーアームのタペットアジャストナット、スクリューを緩めてください。（カムシャフトを交換しますので再度タペット調整が必要です。）	
61	●トルクレンチを使用し、カムホルダーの締め付けを行ってください。締め付ける場合は対角線で締め付けます。 **規定トルク** ２．０Ｋｇｆ／ｍ 【２０Ｎ／ｍ】	
62	●　ヘッド装着後、仮留めをしていたシリンダーヘッド・マウントボルトをトルクレンチにて締め付けてください。 **規定トルク**　１．２Ｋｇｆ／ｍ 【１２Ｎ／ｍ】	
63	●フライホイールの“Ｔ”マークが、クランクケースの“▽”形状の出っ張りに合うようにセットしてください。	
64	●カムスプロケットの“○”印が上記の写真の様にシリンダーに対して垂直になる様に取りつけを行います。 この時に、フライホイールの“Ｔ”マークがクランクケースの合いマークからずれていな事を確認してください。	
65	●カムチェーン装着後、ボルト２本でカムスプロケットを固定してください。この時、ＩＮ側に黒色のボルトを使用し。ＥＸ側に白色のボルトを装着してください。 最後の締め付けは、トルクレンチで締め付けを行ってください。	

66	● 締め付けは、トルクレンチで行ってください。締め付ける際にカムシャフトが回るため、外す時と同じ要領でフライホイールを固定し、締め付けを行ってください。 **規定トルク　１．２Ｋｇｆ／ｍ** **【１２Ｎ／ｍ】**	
67	●バルブクリアランスの調整には、クランク左側のフライホイールのＴマークとクランクケースの合わせマークを一致させます（この位置でピストンの上死点位置です） カムスプロケットの“○”マークがシリンダーヘッドの上面に対して、垂直になっているか確認します。ロッカーアームとバルブステムの間にシックネスゲージを入れバルブクリアランスを測定、調整します。（調整には四角のレンチ等を使用してください。） ここを調整して タペットクリアランスの調整をする	 
68	●シリンダーヘッドカバーを取りつけます。カバー・ガスケットを装着し、トルクレンチにて締め付けを行ってください。 **規定トルク**１．２Ｋｇｆ／ｍ **【１２Ｎ／ｍ】**	
69	●エンジンの車体への装着は、これまでの組付け手順の取り外しと逆の手順で行ってください。各部分の規定トルクは右記のようになります。 ここで、サイドスタンド、ステップ、配線等を逆の手順で取り付けしてください。 **注意** **キャブレター装着を行うのでタンク、エアクリーナーボックス、サイドカバーは外したまま、作業を進めてください。**	**規定トルク** **■リアエンジンマウント** **４．５Ｋｇｆ/ｍ　【４４Ｎ/ｍ】** **■フロントエンジンマウント** **２．７Ｋｇｆ/ｍ　【２６Ｎ/ｍ】** **■クランクケースカバー** **１．Ｋｇｆ/ｍ　【１２Ｎ/ｍ】** **■左ステップ** **２．７Ｋｇｆ/ｍ　【２６Ｎ/ｍ】**
70	● キャブレターの取り付けに入ります。スロットルハウジングのスロットルケーブルを外し、付属の **5.スロットルケーブル**をスロットルホルダーに取り付けし、ケーブルをメインフレームに沿って取り回ししてください。	

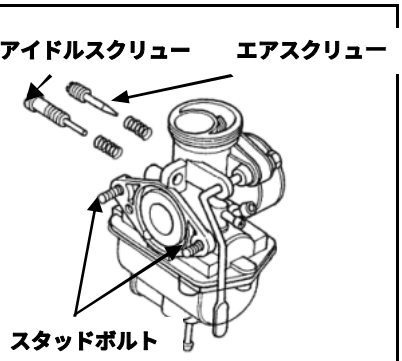
71	●シリンダーヘッド側マニホールド固定部と 6.インテークマニホールドに 17.マニホールドガスケットを挟み、21.六角穴付きボルト（M6X20／2本）で固定します。 注意 ※キャブレターガスケットは穴径が大きい方です。 ※マニホールドガスケットは穴径が小さい方です。 ※マニホールドは、穴径が小さい方を、エンジン側に取り付けます。取り付けの一際は方向に注意して行なってください。	 エンジン側



72

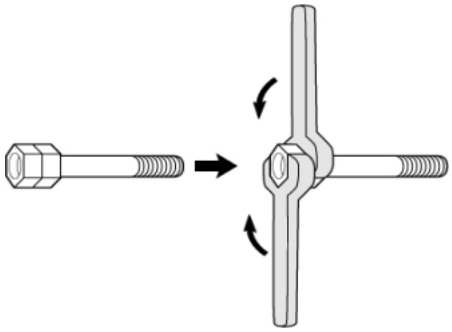
キャブレター周辺部品の取り付けをします。
アイドルスクリュー(アイドリングの調整用)**エアスクリュー**(スロージェット関係のエアの調整用)**22.スタッドボルト(M6 x 33)**の取り付けをします。

＊スタッドボルトを取り付ける際は、ネジ部が短い方がキャブレター側になりますので方向に注意して取り付けてください。
＊固定方法は、ダブルナット(ナットを 2 ヶ使用)にして締めつけてください。
ダブルナットの固定は、次の手順で行なってください。



〔ダブルナットの作り方〕

①スタッドボルトのネジ部が長いほうにナット(純正)をひとつ入れます。
②さらにもうひとつのナット(純正)を入れた後スパナを 2 本使い図のように、うえのナットを締める方向、下のナットを緩める方向に回しナットを固定します。
＊スタッドボルトを締めるときは、上のナットにスパナをかけて締めます。
＊純正のナットは 2 個しかないため片方ずつ行なってください。

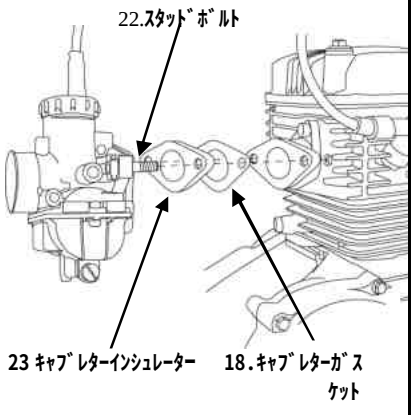


73

●5.スロットルケーブルをキャブレターのスロットルバルブに取り回しをして組み付けます。

74

● 7.ＰＣ２０キャブレターを装着します。
6.インテークマニホールドと 7.ＰＣ２０キャブレターの間に 18.キャブレターガスケット、23 キャブレターインシュレーターを挟み六角ナット(純正)にて固定します。

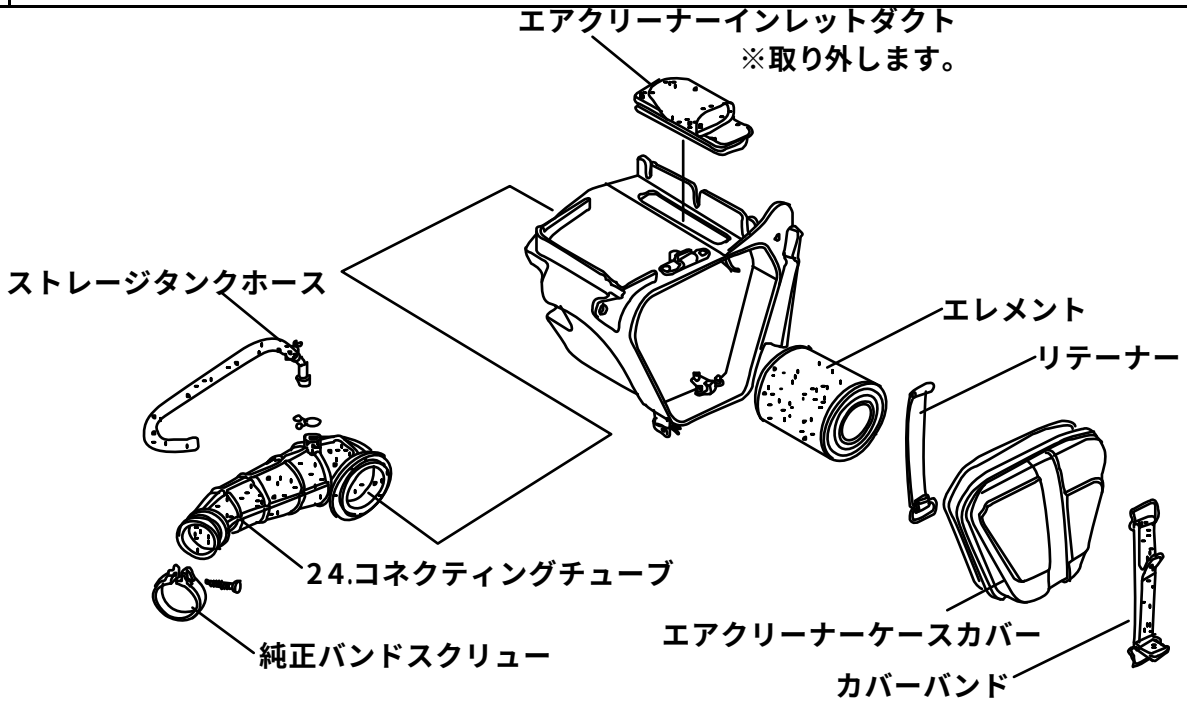


75

●カバーバンド、エアクリーナーケースカバー、リテーナーの下側のフックを外し、エレメントを一旦、取り外します。

●コネクティングチューブのストレージタンクホースを外し、コネクティングチューブを取り外します。外れにくい場合はマイナスドライバーなどでこじると外しやすくなります。

●エアクリーナーボックスに24.コネクティングチューブを装着し、ストレージタンクホースを差し込み、純正バンドスクリューを使用してキャブレターと接続します。
●シートを外し、エアクリーナーインレットダクトを外します。



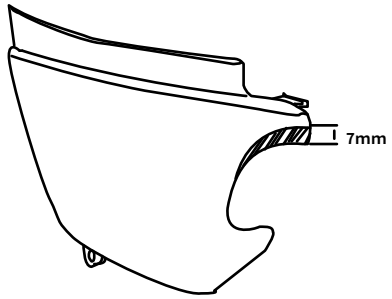
76

●Rサイドカバーを加工し、コネクティングチューブが接触しないようにして、取り付けます。

＊加工をしなくても装着できますが、多少無理な取り付けになりますので加工をお奨めします。

Rサイドカバー

斜線部分をヤスリ等で削ってください。



77

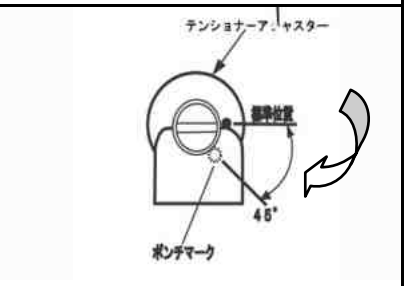
●ガソリンホースをキャブレターに取り付け、タンク、シート等の外装を取り付けしてください。又、パワーフィルター装着の場合、ここで取り付けしてください。

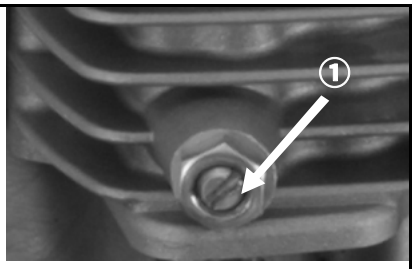
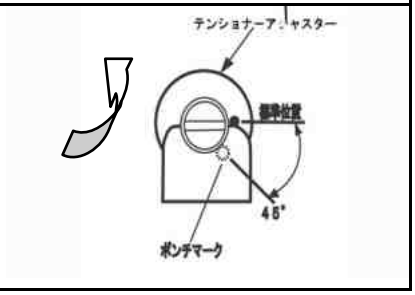
規定トルク
■タンク・シート
２．７Ｋｇｆ/m　【２６N/m】

78

●カムチェーンの調整を行います。
エンジンを始動し、軽く暖気運転を行います。暖機運転終了後、エンジンを停止します。

テンショナアジャスタを留めているセットプレートボルトを緩め、ポンチマークを標準位置から４５°の位置にずらし、ボルトを締め付けます。



79	●テンショナアジャストボルトロックナット①を緩め、テンショナアジャストボルトを緩めます。アジャストボルトをゆるめる事により、スプリングの張力により、カムチェーンテンショナが自動調整されます。 自動調整完了後、アジャストボルトが動かないように保持し、ロックナットを締め付けます。 **規定トルク　１．２Ｋｇｆ/ｍ** **【１２N/m】**	
80	●テンショナセットプレートボルトを緩め、ポンチマークを標準位置まで戻します。その後、セットプレートボルトを締めつけてください。 エンジンを始動し、カムチェーンの音が適正な音になっているか確認します。適正な音でない場合は、テンショナアジャスタを標準位置から　４５°の範囲で調整してください。	

参考セッティング

ＡＰＥ５０（参考データーです）	Ｍ／Ｊ	Ｓ／Ｊ	ジェットニードルクリップ段数
ハイパーボアキット８０ｃｃ ＋ノーマルエアクリーナー ＋コネクティングチューブ ＋ノーマルマフラー	＃１００～１０５ （季節や使用パーツにより変化します。付属のメインジェットで調整してください。）	＃３８	上から３段目

＊ジェットセッティングは季節、装着パーツ、車両使用状況、主観の違いによってベストセッティングは異なります。予めご了承ください。

キャブセッティングの決め方

＊プラグの焼け具合を確認します。

<プラグの状態>	原因	<対処法>
黒く焼けている	燃料が濃い状態	メインジェットの番数を下げる
白く焼けている	燃料が薄い状態	メインジェットの番数を上げる
キツネ色に焼けている	最適な状態	そのままで良い

セッティングパーツ

1）「メインジェットセット」

(商品 NO.３１１１７／標準価格￥1,260-)　セット内容／＃65、70、75、80、85、90
(商品 NO.３１１１９／標準価格￥1,260-)　セット内容／＃85、90、95、100、105、110
(商品 NO.３５９９３／標準価格￥1,260-)　セット内容／＃110、115、120、125、130、135

＊　スロージェットの設定はありません

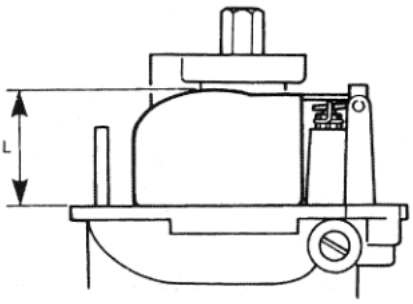
2）クラッチ関連

(商品 NO.４７９１０　ＦＣＣ製強化クラッチキット/標準価格￥6,090-

油面調整方法、出荷時のセッティング

	PC20
メインジェット	#95
スロージェット	#38
スロットルバルブ	20G
ジェットニードル	4段目
エアスクリュー	2回転戻し

ガソリンがオーバーフローしている時は、バルブが調整板に接していない状態でフロートレベル（L）を21mmに調整してください。又状況に応じて調整してください。



株式会社 デイトナ 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805
URL: http://www.daytona-mc.jp E-mail: info@daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955まで